

● TOPICS ●

6つの医療チーム活動

病院と地域をつなぐ6つの医療チームの活動を通して、患者さんの意思を尊重した看護を大切にしています。



緩和ケアチーム

からだの痛みやだるさなどの症状、不安やいらだち、気持ちの落ち込みといった心の問題をがん患者さんとご家族が自分らしく生活できるよう支援しています。

栄養サポートチーム (NST)



入院患者さんの栄養不良の状態を改善するため、多職種にて活動しています。栄養状態が良くない治療の効果がうまく発揮されないことがあります。依頼があった患者さんを訪問し、チームでより良い栄養管理の方法を提案しています。

褥瘡(床ずれや傷)ケアチーム



床ずれが発生しやすい患者さんに対し、スクンケアや体の向きの調整やマットレスの選択などを行います。すでに床ずれをお持ちの患者さんには医師・認定看護師・栄養士・薬剤師・理学療法士がチームとなり、傷が早く治るようお手伝いします。



認知症ケアチーム

もの忘れの影響で日常生活に支障が出たり、慣れない環境や身体具合の悪さなどから混乱したりすることがあります。その支障や混乱を最小限にできるように院内ケアを行ったり、退院後の生活へスムーズに移行できるように医師・看護師・ソーシャルワーカーなどの多職種でサポートします。

精神科リエゾンチーム



『気持ちが悪くなる』『不安で眠れない』『何だか落ち着かない』といった症状でお困りの入院中の患者さんを対象に、お話をうかがい、必要に応じてお薬の処方や調整を行います。また、心配や困りごとが少しでも軽くなるよう対策を一緒に考え、退院後も安心して生活できるよう情報提供も行っています。

呼吸サポートチーム (RST)



毎週、人工呼吸器を装着中の患者さんを医師・看護師・臨床工学技士・理学療法士で回診しています。各職種の専門的な知識を活かし、呼吸器を装着した患者さんが安全に治療・リハビリ・看護ケアを受けられるようサポートしています。

病院の理念 地域住民の健康増進に努め、  
高度な医療を追求し、良き医療人を育てる

看護の基本方針

1. 患者さんの立場にたち、尊厳と権利を尊重した優しさと思いやりのある看護を行います。
2. 常に患者さんの安全・安楽な療養生活を守り、患者さんの自立を目指した看護を行います。
3. 質の高い医療・看護提供のために、医療チームメンバーと協働し、看護職者としても役割を遂行します。
4. 看護職者として能力開発するために、自己研鑽に努めます。
5. 地域連携を密にした看護活動を行います。

看護部 部署紹介

救命救急センター

救命救急センターは19床を有し、初期診療の対応から、その後の集中治療、回復への支援と幅広い知識と技術が求められます。初期診療では、患者さんを救命するための治療を早期に提供できるようドクターカーの運用も行っています。医師、救急救命士とともに院外へ出動し、現場活動も行えることは当救命救急センターの魅力のひとつです。毎年、新卒ナースも配属されているので、興味のある方は職場体験にお越しください。



外科系病棟



急性期の周手術期の看護を中心に術後の全身状態の観察、ドレーンの管理、せん妄予防や早期離床の実施を行いながら重症化の回避に向けた看護を行っています。また、手術以外にもがん化学療法や放射線治療を実施する患者さんと終末期を迎える患者さんも入院することから、退院支援看護師と共に在宅に向けた取り組みを早期から実施しています。術後の管理、がん看護に興味のある方、一緒に働きませんか。

NICU



院内外で出生された新生児を受け入れ、妊娠34週以降かつ出生体重1800g以上の早産・低出生体重児、呼吸障害や黄疸・低血糖などで入院する新生児の看護を行っています。母子センターと小児・成人混合病棟と協力し、育児に対しての母親の思いを共有しながら、日々の看護ケアや育児指導を行っています。新生児の看護や父母への育児指導などに関心のある方、一度職場体験でのぞいてみませんか。

ハイケアユニット(外科病棟・脳神経外科病棟)

当院のHCUは脳神経外科病棟と外科病棟と同じフロアにあります。脳外のHCUでは、脳卒中の術後やtpa療法などタイムリーな対応が求められています。外科のHCUでは、主に大腸がんや肺がんなどの術後管理を行っています。また、ダヴィンチによるロボット支援下手術後の管理も開始されました。人工呼吸器の管理、せん妄予防、苦痛の緩和、早期リハビリテーションなど周術期管理の指導は任せてください。



内科系病棟

循環器内科、呼吸器内科、血液内科、腎臓内科を主とした病棟が3つあります。カテーテル治療、心臓リハビリテーション、抗がん剤治療、放射線療法などを目的とした入院患者さんの看護を行っています。各病棟には、糖尿病看護や慢性腎不全看護、慢性心不全看護の認定看護師や特定行為研修修了看護師が多く在籍しています。日々の質問や不安をその場で解決できる職場です。



手術室・検査室



当院の手術室は、手術室の他に検査部門(内視鏡室・アンギオ室・CT室)と夜間の救急外来の役割も担っています。全身麻酔・局所麻酔合わせて年間5000例以上の手術が行われ、内視鏡検査は年間4500例以上、血管造影は心臓・脳血管造影を800例以上行っています。ダヴィンチによるロボット支援下手術にも力を入れています。緊急手術・検査も多く緊張感が高い職場ですが、声を掛け合い、迅速に対応しています。見学をお待ちしています。

外来



外来は、24診療科を備え、1日平均約600名の患者さんの診療を行っています。各医療チームのスタッフや患者支援センターの看護師、地域の医療関係者と連携を図り、入院手術・退院外来と切れ目のないケアを実施しています。また、退院後の継続看護の充実を目指し、2023年度より一部外来・病棟の一元化を開始しました。外来看護、継続看護、地域連携に興味のある方は、ぜひ職場体験にお越しください。